

授業科目	乳児保育 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21621J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP5-1			
担当教員	田中 沙織							
授業概要	この授業では、わが国における乳児保育の変遷と保育所・乳児院・家庭の現状を確認しながら、保育所や乳児院の果たす役割、乳児保育を担当する保育者としての役割について理解することを目的とする。そのために、乳児を集団で保育することについて、保育現場での具体的な課題を考え、問題解決の方法を学ぶ。また、乳児の発達を踏まえた保育内容についての基礎的な理論を理解し、職員間の連携・協働、および乳児をもつ家庭への支援について学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解し、説明できる。 2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について自分の考えを表現できる。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解し、計画を立てることができる。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解し、説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	0				40		40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10				10	
思考・判断 (DP2-2)			10				10	
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				30			30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解し、自分の言葉で説明できる。 ・保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解し、根拠に基づく解説策を考案できる。 ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解し、自分の言葉で説明できる。 ・乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解し、具体例を交えて説明できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割等について理解し、説明できる。 ・保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解し、解説策を考案できる。 ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解し、説明できる。 ・乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解し、説明できる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:乳児保育の意義及び目的と役割(田中沙織) 授業の進め方と評価方法の確認 乳児保育の意義について理解する	講義	予:シラバストを読む 復:授業ノートの整理を行う	180
2	テーマ:乳児保育の歴史的変遷と基本(田中沙織) 乳児保育の考え方の基本と乳児保育の歴史について解説する	講義	予:保育指針総則を読む 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
3	テーマ:乳児の育つ場所①(田中沙織) 乳児保育のニーズと子どもが育つ場所の多様性について学ぶ	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
4	テーマ:乳児の育つ場所②(田中沙織) 乳児の育つ場所について学んだことを生かし調べ学習を行い発表する	講義 発表	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
5	テーマ:0・1・2歳児の発達と保育(田中沙織) 1-3歳児の発達について解説する	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
6	テーマ:乳児の保育内容①(田中沙織) 乳児保育の基本的事項について解説する	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
7	テーマ:乳児の保育内容②(田中沙織) 乳児の生活について解説する(衣服の着脱、排泄、おむつ交換・トイレトレーニング)	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
8	テーマ:乳児と遊び①(田中沙織) 乳児の遊びについて理解する(手作りおもちゃ、わらべ歌、絵本、パネルシアター等)	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
9	テーマ:乳児と遊び②(田中沙織) 乳児の遊びについてグループで調べ発表する(手作りおもちゃ、わらべ歌、絵本、パネルシアター等)	講義 発表	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授	180

			業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	
10	テーマ:乳児保育における環境構成と保育者のかかわり(田中沙織) 乳児保育の環境構成と望ましい保育者のかかわりについて学ぶ	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
11	テーマ:乳児期の環境と人間関係(田中沙織) 子どもの主体性を育む保育環境について解説する	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
12	テーマ:乳児保育を支える連携(田中沙織) 職員間・家庭・地域との連携について解説する	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
13	テーマ:乳児保育の指導計画と記録(田中沙織) 乳児保育の保育記録と指導計画について解説する	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
14	テーマ:乳児期の子ども権利(田中沙織) 乳児期の子どもの権利について理解する	講義	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ小テストに備えて知識・技能を定着しておく。	180
15	テーマ:乳児保育における保育者の専門性(田中沙織) 乳児保育を行う際の保育者の専門性についてこれまでの授業内容をまとめ課題を明らかにする 授業全体のまとめを行う 試験(レポート)	講義 テスト	予習:これまでの講義内容を復習し、試験に備える。 復習:授業内容を振り返り知識・技能を定着しておく。	180
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	乳児をとりまく様々な課題に普段から興味関心を持って、情報収集すること。			
テキスト	はじめて学ぶ乳児保育 第三版、同文書院、志村 聡子			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内容に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教科書や専門書以外にも、身近な私たちの生活の中に、この授業内容を理解するヒントがあふれています。授業内容に対し、疑問や意見を持つことで生活の中でアンテナを広げ、そこで得た情報を、授業の中で表現することで学習内容はさらに深まります。 尚、本授業の教科書は乳児保育Ⅱでも使用します。必ず購入して授業に持参するようにしてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	レポート 30%、各授業の提出物や課題 40%、発表やプレゼンテーション 30%として配点する。 レポートについては、設問の要求に応じた回答と独自性のある考察が含まれていれば満点とし、適宜減点を行う。 授業の提出物や課題については、求められているスペースに 3/4 回答し授業内容を反映した考察が行われていることを満点の基準とする。			